

章	講座	講座名	ページ 〔ページ数〕	① 学習予定日	② 学習日	③ チェック欄	確認 テスト	
〈第1章〉 漢字と語句	1	漢字の基礎知識	4～5 (2)	/	/		1	
	2	熟語の基礎知識	6～7 (2)	/	/			
	3	語句の基礎知識	8～9 (2)	/	/		2	
	強化学習①	注意すべき漢字の読み	10～11 (2)	/	/			
	強化学習②	注意すべき漢字の書き	12～13 (2)	/	/			
	強化学習③	よく出る漢字の読み	14～15 (2)	/	/			
	強化学習④	小六で習った漢字の書き	16～17 (2)	/	/			
	章の問題	第1章 漢字と語句(1)	18～19 (2)	/	/			
	第1章 漢字と語句(2)	20～21 (2)	/	/				
〈第2章〉 文法	4	文の組み立て	22～23 (2)	/	/		3	
	5	自立語	24～25 (2)	/	/			
	6	付属語	26～27 (2)	/	/		4	
	7	まぎらわしい品詞の識別	28～29 (2)	/	/			
	章の問題	第2章 文法(1)	30～31 (2)	/	/			
		第2章 文法(2)	32～33 (2)	/	/			
〈第3章〉 作文・表現	8	適切な表現	34～35 (2)	/	/		5	
	9	作文(1)	例題	36～37 (2)	/	/		
			演習	38～39 (2)	/	/		
	10	作文(2)	例題	40～41 (2)	/	/		
			演習	42～43 (2)	/	/		
	章の問題	第3章 作文・表現(1)	44～45 (2)	/	/			
第3章 作文・表現(2)		46～47 (2)	/	/				
〈第4章〉 実用的文章	11	話し合い	例題	48～49 (2)	/	/	6	
			演習	50～51 (2)	/	/		
	12	発表	例題	52～53 (2)	/	/		
			演習	54～55 (2)	/	/		
	13	手紙・案内	例題	56～57 (2)	/	/		
			演習	58～59 (2)	/	/		
	章の問題	第4章 実用的文章(1)	60～61 (2)	/	/			
		第4章 実用的文章(2)	62～63 (2)	/	/			
〈第5章〉 説明的文章	14	説明的文章読解の基本	64～65 (2)	/	/		7	
	15	指示語・接続語	例題	66～67 (2)	/	/		
			演習	68～69 (2)	/	/		
	16	段落・要点	例題	70～71 (2)	/	/	8	
			演習	72～73 (2)	/	/		
	17	要約・要旨	例題	74～75 (2)	/	/		
演習			76～77 (2)	/	/			

「学習計画表」の使い方

- ①「学習予定日」 学習する予定の日を記入しましょう。
- ②「学習日」 実際に学習した日を記入しましょう。
- ③「チェック欄」 その単元の学習が終わったら、先生にチェックしてもらいましょう。

章	講座	講座名	ページ 〔ページ数〕	① 学習予定日	② 学習日	③ チェック欄	確認 テスト
〈第5章〉 説明的文章	強化学習⑤	記述力アップ(1)	78～79 (2)	/	/		
		記述力アップ(2)	80～81 (2)	/	/		
	章の問題	第5章 説明的文章(1)	82～83 (2)	/	/		
		第5章 説明的文章(2)	84～85 (2)	/	/		
		第5章 説明的文章(3)	86～87 (2)	/	/		
〈第6章〉 文学的文章	18	文学的文章読解の基本		88～89 (2)	/	/	
	19	場面・情景・表現	例題	90～91 (2)	/	/	
			演習	92～93 (2)	/	/	
	20	人物・心情	例題	94～95 (2)	/	/	
			演習	96～97 (2)	/	/	
	強化学習⑥	記述力アップ(1)		98～99 (2)	/	/	
		記述力アップ(2)		100～101 (2)	/	/	
章の問題	第6章 文学的文章(1)		102～103 (2)	/	/		
	第6章 文学的文章(2)		104～105 (2)	/	/		
	第6章 文学的文章(3)		106～107 (2)	/	/		
〈第7章〉 詩歌	21	詩	例題	108～109 (2)	/	/	
			演習	110～111 (2)	/	/	
	22	短歌・俳句	例題	112～113 (2)	/	/	
			演習	114～115 (2)	/	/	
	章の問題	第7章 詩歌(1)		116～117 (2)	/	/	
第7章 詩歌(2)		118～119 (2)	/	/			
〈第8章〉 古典	23	古文の基礎	例題	120～121 (2)	/	/	
			演習	122～123 (2)	/	/	
	24	古文の読解	例題	124～125 (2)	/	/	
			演習	126～127 (2)	/	/	
	25	漢詩・漢文	例題	128～129 (2)	/	/	
			演習	130～131 (2)	/	/	
	章の問題	第8章 古典(1)		132～133 (2)	/	/	
第8章 古典(2)		134～135 (2)	/	/			
第8章 古典(3)		136～137 (2)	/	/			
入試対策	実戦模試 第1回		138～141 (4)	/	/		
	実戦模試 第2回		142～144 (3)	/	/		

例題1

指示内容を書き抜く 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(長谷川 権『和の思想』より)

(1) 線「その力」とは、どのような力ですか。文中から三十字以内で書き抜きなさい。(句読点も字数に含めます。)

ポイント

指示内容のとらえ方

- 指示語は同じ言葉のくり返しを避けて省略したものである。
- 指示内容(「何」「どんな」「どこ」など)を考える。
- 指示内容は指示語より前にあることがほとんどである。

…… ← 指示内容 指示語 ……

④ 指示内容を指示語と置き換えて、言葉の流れとして不自然ではないかどうかを確かめる。

例題3

文と文をつなぐ接続語 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(大林 宣彦『父の失恋 娘の結婚』より)

(1) [] に当てはまる最も適当な言葉を、ア～エから選びなさい。

ア だから イ たとえば ウ つまり エ しかし

ポイント

接続語のとらえ方

前後のつながり方から考える。

- 前が原因・理由、後が結果・結論になっている。(順接)
↓だから・したがって・それで・すると
- 前とは逆の内容が後にきている。(逆接)
↓しかし・ところが・だが・けれども
- 前の内容に並べたり、つけ加えたりしている。(並立・累加)
↓しかも・そして・さらに・また
- 後に説明・要約・例示がきている。(説明・補足)
↓つまり・すなわち・たとえば
- 前と比べたり、一方を選んだりしている。(対比・選択)
↓あるいは・それとも・または
- 話題をかえている。(転換)
↓ところで・さて・では

例題2 指示内容をまとめる 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) 摂理 — 自然界の法則

(吉田 桂二『家づくりの知恵』より)

(1) —線「この現象」の内容を、「それぞれの時代」と「風景」という二つの言葉を使って、四十字以内で書きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ポイント 指示内容をまとめる方

①文末に「もの」「こと」などの言葉を補う。

例題では 「〜こと。」「〜現象。」という形でまとめる。

②指定語句の文中での使われ方に着目する。

例題では 「明治あり大正あり昭和あり」↓「それぞれの時代」

「絵になる風景」

「風景」の中の一要素として絵の中に納まっている

例題4 段落と段落をつなぐ接続語 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(大野 晋『新版 日本語の世界』より)

(1) [A]、[B]に当てはまる接続語の組み合わせとして最も適当なものを、

ア〜エから選びなさい。

ア A—けれども B—つまり イ A—では B—だから

ウ A—たとえば B—また エ A—だが B—すると

ポイント 段落と段落をつなぐ接続語のとりえ方

段落冒頭の接続語は、その段落全体の内容から判断する。

例題では 第二段落…四季を表す言葉がある社会とない社会の例

第三段落…馬を表す言葉が細かく豊富にある社会の例

演習

15

指示語・接続語

1 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) 戦々恐々——おそれて、びくびくすること

(香山 リカ 『貧乏クジ世代』より)

20 15 10 5

2 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

(1) 接続語 A に当てはまる言葉を、ア～エから選びなさい。

- ア そして
イ しかし
ウ つまり
エ たとえば

[Blank box]

(2) 指示語 — 線1「このあたり」とありますが、どのようなことを指していますか。次の [] に当てはまる最も適当な言葉を、文中から七字で書き抜きなさい。

コミュニケーションが [] であるのは当然だということ。

[Blank box]

(3) 接続語 B には、どのようなはたらきをする接続語が当てはまりますか。最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア 前段落の内容から話題を変えるはたらき。
イ 前段落の内容を要約するはたらき。
ウ 前段落の内容に沿った例を付け加えるはたらき。
エ 前段落の内容を原因とする結果を示すはたらき。

[Blank box]

(4) 内容把握 — 線2『感情優位』の思考パターン」の説明として最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア 自分の気持ちを言葉に出すことを優先する思考パターン。
イ 物事を決めるときに、客観的・冷静な判断を下す思考パターン。
ウ 他者の考えよりも、自分の考えを優先する思考パターン。
エ 分析や理屈よりも、感情で物事を判断する思考パターン。

[Blank box]

(5) 指示語 — 線3「それ」が指している語句を、文中から書き抜きなさい。

[Blank box]

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

30

(注) 阻害—じやますること 共生—ともに生きていくこと

(内山 節『森にかよう道』より)

35

(1) 指示語 — 線1「それ」とありますが、何を指していますか。文中から二十二字で書き抜きなさい。

[Blank box]

(2) 解釈 — 線2「私たちは決して……生きている」とありますが、「変わりつづける直線的な時間の中で生きている」私たち人間は、自然にとつてどんな存在になったと筆者は考えていますか。十五字以上二十五字以内で書きなさい。

[Blank box]

(3) 接続語 [] に当てはまる最も適当な言葉を、ア～オから選びなさい。

- ア したがって
イ だが
ウ なぜなら
エ そして
オ むしろ

[Blank box]